

夏の

ハジケちゃう？



初 本 馬 炎

夏はいろんなことに挑戦する季節です。
市民活動・ボランティアのイベントも
たくさん あります。

みんなの活動、
のたろんが
バックアップ！



2017
夏
号

《《すかっこの 市民活動情報》》

いろいろな分野
35 団体

夏の市民活動・ボランティア体験 2017

7月15日(土)～8月31日(木)

期間中の市民活動イベントをサポートセンターがバックアップ!!
イベントや体験を通じて市民公益活動への関心を深める催しです。

さまざまな体験
45 イベント

たとえば、こんな体験や活動が、あなたの参加を待っています



耳の聞こえない人とお話ししてみませんか?
興味を持ったときからすぐ始められる **手話勉強会**



みんなで作ってみんなで食べる

こども食堂で調理補助、子どもといっしょに遊んでくださる方



演歌、懐メロを合唱する会です。

150人以上の方々が集まる会場の受付や片付けを



会場の準備、片付けをおねがいします

こどもと遊ぶ、おもちゃのひろば

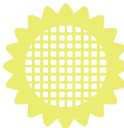


川の水質調査、水生生物調査

体験とともに参加者のサポートや、子どもの安全指導

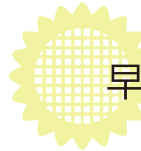


三笠公園**野外映画会**で会場づくり、参加者の誘導



栄養士グループによる**調理実習**

子どもといっしょに材料準備



早朝ウォーキングイベント同行スタッフ



持ち物は飲み物、着替え、お弁当

未就園児の保育をのぞいてみよう



持ち物はタオルと水筒 Yデッキで**募金活動**

少しのやる気と少しの勇気があれば、誰でも参加できます



エプロン・バンダナを持ってきてください

地域コミュニティカフェでカフェスタッフとして、注文受け、セット出し、片付けをおねがいします



海外国内**支援品**のお店での接客や掃除



中央**図書館**の仕事体験(大学生限定)



災害の知識と災害時の行動をいっしょに考えよう

親子で学ぶ地震対策



一緒に**星を見る**ことと会場内の誘導

持ち物は上履きと上着



足の届く海で参加者と一緒に箱メガネで走水の**アマモ場の生き物**を観察

水にぬれても構わない格好で。マリンシューズまたはスニーカーで参加



武山山頂までは行かず、途中せせらぎ広場でお昼を食べて解散

武山**ハイキングコース**周辺のゴミ拾い

夏の市民活動・ボランティア体験ガイドブック

.....

冊子「イベント情報」

迷うよ

さしあげます。

各イベントの日にち、持ち物、お申込み方法などの詳細が載っています。

サポートセンターのほか、市役所やコミュニティーセンターにも置いてあります。

お問合せ：横須賀市立市民活動サポートセンター (☎046-828-3130)





～市民活動を支える人たち～

横須賀市青年赤十字奉仕団
赤十字防災ボランティア第3ブロック
横須賀市救急・防災サークル

細川 順一 さん
細川 章子 さん

元気な奥さまとやさしい旦那さま、横須賀市青年赤十字奉仕団、赤十字防災ボランティア第3ブロック、横須賀市救急・防災サークルをまとめる細川夫妻にお話を伺った。

30年ほど前、章子さんは、障害者施設で働いていた。救急法の資格を持っている同僚に薦められ、救急法の講習を受けた。青年赤十字奉仕団で、はじめは1日限りのイベントボランティアに参加、そして、入団する。講習会のスタッフがほしいと言われ、救急法のボランティアスタッフも引き受けるようになった。

それから5年後、順一さんは、外科の個人病院に事務職として勤務していた。お昼休みなどの医師も看護師も居ない時間帯に、けがをした方が来ることがあった、診療時間になるまで、とりあえず「待っていてください。」と言って待合室で待たせるしかない。「医療的なことはできなくても、その患者さんたちにできることは無いか？」と思ったとき、救急法の受講がひらめいた。

知人から「あそこの指導員はやる気を見せないと合格にしてくれないよ」と言われた。熱心に質問するなど、積極的に受講しているうちに、講習が終わると青年赤十字奉仕団に入らないかと誘われた。救急法講習会のスタッフをしていた奥さまとの出会いでもあった。

それから10年、順一さんが委員長となった青年赤十字奉仕団は、転換期にあった。活動の中心だった障がい児、障がい者への支援は、家族会などへ役割が移っていた。そんなとき、市の救急法講習が年2回の実施から、年1回に見直すことになった。講習の機会を減らさないでという声もあり、青年赤十字奉仕団が年1回の講習会を肩代わりして、年2回の体制を維持することに落ち着いた。

その頃、長年一緒に活動してきた章子さんと順一さんは、結婚。公私とも一緒に歩む日々が訪れた。青年赤十字

奉仕団は、幼児安全法や健康生活支援講習、イベント時の救護所の開設などが主体の活動となり、今日に至っている。

ロサンゼルス地震、阪神淡路大震災を契機

として、赤十字には、防災ボランティアの組織が作られた。そして、東日本大震災では、ご夫妻も後方の支援活動を行う。順一さんは、東京の赤十字本社で全国各地からのボランティアの調整、送る資材の調整をした。章子さんは、神奈川支部で買い出しなども含めて、派遣される方へのサポートを行った。

ご夫妻は多忙だ。休日には講習が入ってるか、学校の体験指導や、各所の救護所。新婚旅行以来泊まりがけで出掛けたことはない。旅行ができない理由には、拾ってきた3匹の猫と一緒に暮らしているということもあるが。

本と防災グッズをこよなく愛する順一さん、インドア派を名乗るご夫妻だが、章子さんは、若い頃毎週スキーに出掛けていたこともあるし、順一さんも高校時代は、ワンダーフォーゲル部に属していた。

ご夫妻の一方だけがボランティア活動をしていると、夫婦間での理解を得ることは難しい場合もあるし、気も遣う。「その点うちは楽、同じ活動をしているのだもんね」と語る。「長く続いている活動だから、ここで途切れさせるわけにゆかない。若い世代を増やしたい。」と話してくれた。

仕事のため受けた講習がきっかけとなり、二人で歩むボランティアをみつけた細川さん。銀婚式、金婚式、末永くお幸せに。
(はこぎき)



団体紹介

横須賀市青年赤十字奉仕団
赤十字防災ボランティア第3ブロック
横須賀市救急・防災サークル

災害発生時は日本赤十字社の指示のもとで、被災地への救護活動や災害復旧活動へ参加します。平時は三浦半島地域の各市、町と連携した防災訓練、赤十字救急法の普及と伝達講習会の開催や行事での救護所活動を通して地域の安全安心の活動を行っています。赤十字救急法講習会を受講したメンバーで、定期的な学習会と防災の研修会をおこなっています。

のたろんフェアの救護所も！

サポセンで毎年2月におこなわれる「のたろんフェア」の「救護所」は、細川さんたちにご協力いただいています。



サポセンを利用している人に聞きました。

夏です。あなたは **海？山？**

泳ぎたい シュノーケルが好き

深浦漁港、野島水路、アマモ場、塩性湿地

閉塞感から解放されるかんじ、ここは陸地のはじっこだ！

涼しくなる

三浦海岸に目ざめました。

海に囲まれた街！夏は海でしょ！



アンケートの回答が
全部見られます♪

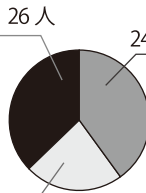
三浦半島は中は海に入って遊び、
夜は波の音を聞きながらおちつける環境

三浦半島全体の観光サイコウ

山は身体的に難儀

海よりも山よりも・・・ (その他) 15人

やっぱり**海** 26人



だんぜん山 24人

キャンプ！！

横須賀周辺の山、久里浜花の国

海って熱いじゃないですかあ。

あと、水着とかはずかしいしー ><

山頂に立てた時はとっても幸せ

海は **離岸流** と **クラゲ** がこわい

私は川です 海もいい、山もいい、それをつなぐ川も大事

家で読書です (時々図書館で) 年とって、家の中でエアコンつけて好きな小説とかゴロゴロしながら読むのが最高！(若い時は海も山も行きました。)

プール 若い時は海がよかったけど、年がいくと、太陽の暑さにまけてしまう。砂が体につくのもいや！

湖派! 湖っておちつく。

海派でも山派でもなく **フランス派!** フランスかぶれですから～

涼しい所で過ごしたい。美術館、映画館、自宅。

うち エアコンのきいたへやでネコとたわむれ、すきなだけ飲める。

夏?夏といえば **お祭り** でしょ!

プール たのしいからイエーイ

家!! 夏は暑くて外に出るのが嫌いです。

子どもから若い事は海!大好きでした。暑さやベタベタする潮がめんどろになり、30代以降は山好き。今は、ハイキングていどの木かけが好き

地震はいつ起きるか解りません。これに備えるために、常日ごろから気にかけておかなければなりません。ボーイスカウトの『備えよ常に』です。災害は防ぐ事が出来ません。ただ起こるだろう、災害に備えることはできます。災害を減じること(減災と言います。)はできます。台風や大雨は天気予報が有りますが、地震は予知はできません。

我が家では、倒れそうな家具は壁に留めてあります。筆筒・テレビ・冷蔵庫・茶筆筒・洋服ダンス・本棚など、壁に留めますが、下地のある所に螺子で留めます。下地が無ければ簡単に抜けてしまうでしょう。断水に備え、風呂の水は抜きません。トイレでタンクに入れる水に使うおとと考えてます。幸い自宅は山の上なので、敷地内の配管が壊れてなければ、流せます。その先のことも考えなければいけないかもしれませんが、20ℓのタンクに水を取って置き、毎週水曜日に交換してます。我が家は2人なので、一日一人2ℓとして、五日分でですね。停電に備え、ヘッドランプ(懐中電灯は照らす事は出来ても作業は出来ません)・トランジスタラジオ・各種電池は置いておきましょう。ガスの供給が止まる事も有ります。食べ物も、大切ですね。少し余分に買って備蓄しましょう。新しく買った物を奥に置いて、手前の物から食べましょう。備蓄物を押入の奥に仕舞ってしまい忘れると賞味期限が切れてしまいます。パツクライスは便利ですよ。山登食品用に購入しますが、電子レンジが使えないと、すぐには温められません。山では鍋に空けて水を入れ温めます。炊いたご飯みたいになりますよ。

(松崎健一)

準備はいいから
準備はいいから



***** サポセンtopics トピックス

冊子発行!

横須賀市でのボランティアさがしは
約80団体のボランティア情報掲載

市民活動・ボランティア情報



サポートセンターに登録している横須賀市内、近隣で活躍している市民活動団体によるボランティア募集のお知らせ冊子です。福祉、文化・スポーツ、環境、まちづくり、子ども子育て支援、IT、その他…。分野別で解りやすいA4版24ページの冊子 2017年6月発行。

当サポートセンター他、市役所やコミュニティセンターなどに置いてあります。

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

- ◆サポセン発信情報
 - ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
 - ◆サポートセンターのホームページ
- 「のたろん Web」は「のたろん」で検索♪



のたろんジャーナル

のたろん

検索

情報誌「のたろん」夏号(通巻71号) 2017年7月1日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター

編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC Aコミュニティサポート

横須賀市本町 3-27 (京浜急行汐入駅徒歩1分)

TEL 046-828-3130

FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

